

郵便報知新聞  
便錦画第5号

明治年五月七日夜郵便使配達人天路半七  
 の曾根岩村辺醒つゝの折柄届先不明の  
 手紙ある故同村事發所へ問合せしに  
 泊りの書役山田東三喜で「見」是の  
 我が方より届けつゝと云ふを  
 当局の御規則より預けが  
 否是非あつと強情小意地  
 取り棄人の勢ひ半七ハマヤ合は  
 振放し立上るゝと敵言察か大の  
 目玉を給と如何あつ所業と尋ら  
 何分酔の上忍入ト申色夫事發  
 會議小宿直を置ゝ非常便利の  
 爲まるに此様をさう人あつ置ぬ  
 却つて便利多と各區戸長さん  
 註意をハイめての申弁



郵便報知新聞 錦画5号 文庫10-8071-3

